

令和6年度事業計画書（案）

（令和6年3月26日 作成）

1. まちなかの歴史

① 伊勢崎市中心市街地の歴史

本市は明治時代から、全国に知られる繊維産業の町として発達し、戦後は繊維産業の衰退から工業誘致を推進し、県内有数の活力ある産業都市に成長しました。こうした中で、市の中心市街地は、一時、戦災により街なみの多くを焼失したものの、鉄道の玄関口である伊勢崎駅と道路交通の要衝という地の利を得て、周辺地域からも人々を吸引する古くからの商業集積地として発達してきました。

② 境町中心市街地の歴史

境町の中心市街地は、江戸時代から例幣使街道や利根川などの陸運、水運の要地となって栄え、明治時代以降は、蚕種製造業、織物業といった当時の先端産業が中心となって発達してきました。その後、工業団地の造成などにより都市化が進展し、中心市街地周辺部は人口増加が続きました。

2. まちなかの衰退

本市のまちなか（伊勢崎市中心市街地活性化基本計画及び境町中心市街地活性化基本計画に定める中心市街地を指し、ここでは主に伊勢崎駅周辺地域を指します、以下同様）は、駅と道路交通の要衝という地の利を得て、周辺地域からも人々を吸引する、古くからの商業集積地として発展してきました。

しかし、近年ではバイパス道路の整備等に伴い幹線道路沿いへ大規模小売店や飲食店などの商業集積が移行し、これに地元商工業者の高齢化に伴う廃業や人口減少も相まって、まちなかの空洞化が進んでいます。

① 地域産業の衰退

まちなかの事業所数はここ10年間で388件（25.6%）減少しています（経済センサス及び事業所・企業統計調査）。また、まちなかにおいて商店街振興組合等に加盟する事業所数は、77件減少しています（減少率50%）。

② 人口の減少

外国人人口の増加により市全体の人口は横ばいの傾向にありますが、まちなかの人口はここ10年間で800人以上減少しています。

③ 高齢化の進展

まちなかの高齢化率は35.4%で、市全体の27.4%に比べ8.0%も高くなっています。

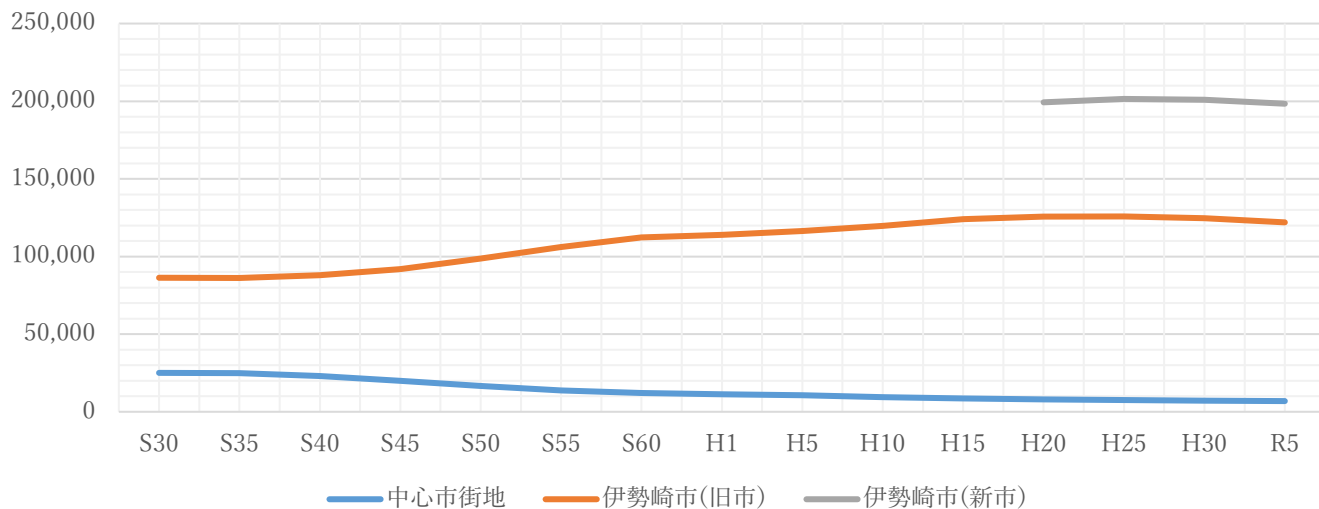
3. まちなか活性化支援会議のこれまで

まちなかにおける経済活力向上による地域課題の解決を支援するため、令和3年8月から伊勢崎商工会議所、アイオー信用金庫、まきばプロジェクト、伊勢崎市の4者でまちなか活性化支援会議を開催し、より緊密かつ継続的にこの取り組みを進めるため、同年12月には4者による連携協定を締結しました。

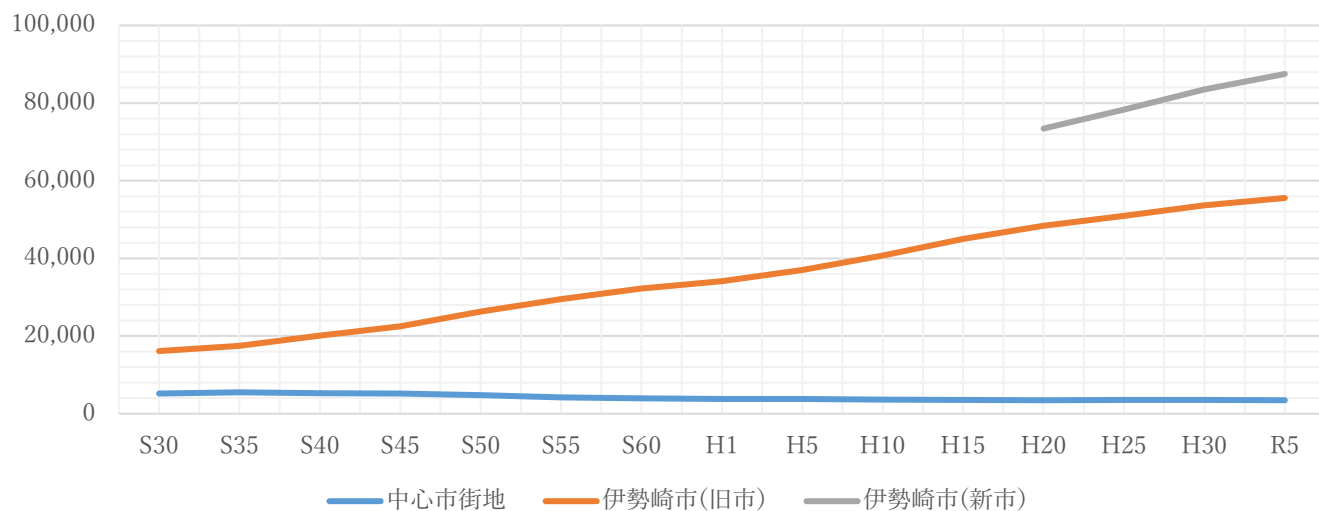
以降、さらに実行力ある組織とするため、群馬伊勢崎商工会、群馬県宅地建物取引業協会伊勢崎支部、全日本不動産協会群馬県支部伊勢崎担当、群馬県（地域支援員）をメンバーに迎えました。

令和5年度は、地域との連携強化を図るため、北地区及び南地区区長会から委員として加わっています。

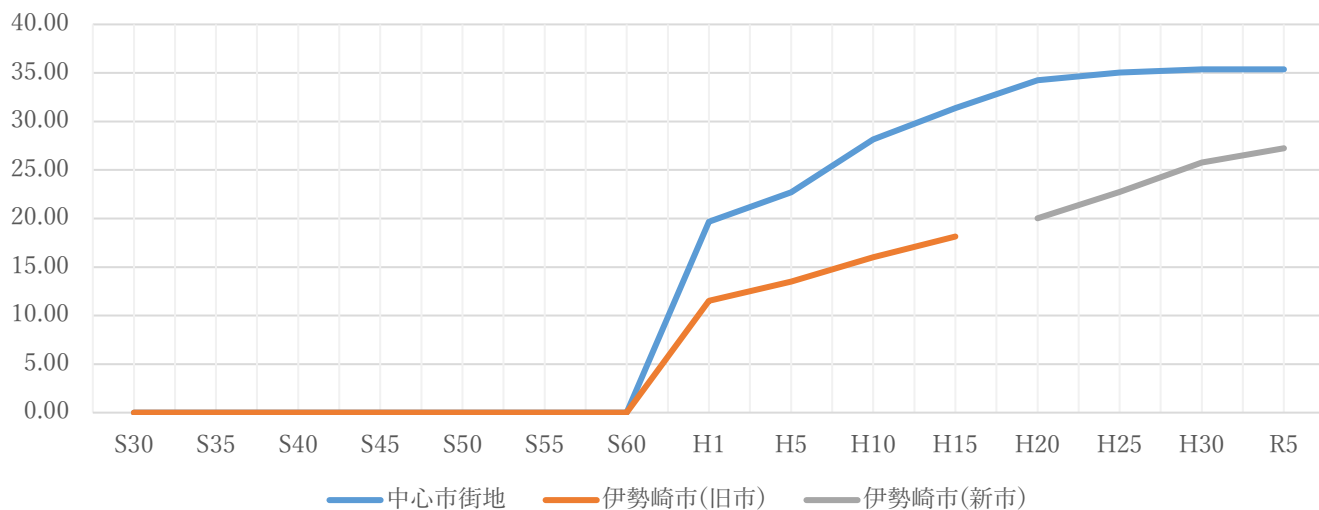
中心市街地*の人口推移 ※曲輪町、大手町、平和町、本町、中央町、緑町、三光町、喜多町、柳原町にて集計



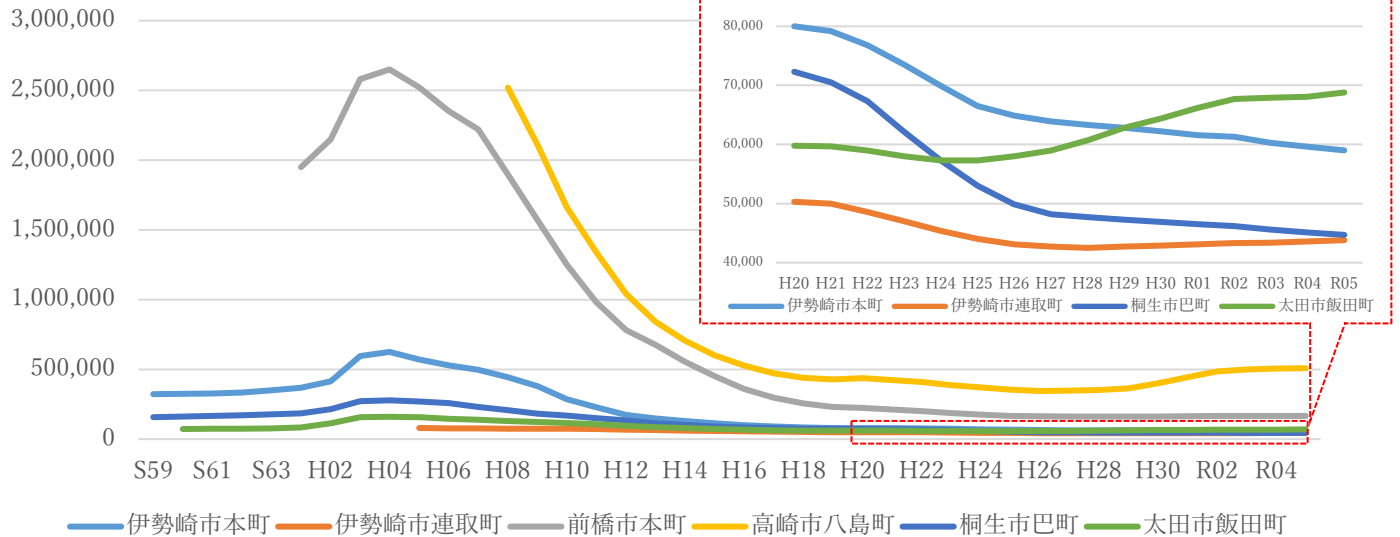
中心市街地の世帯数推移



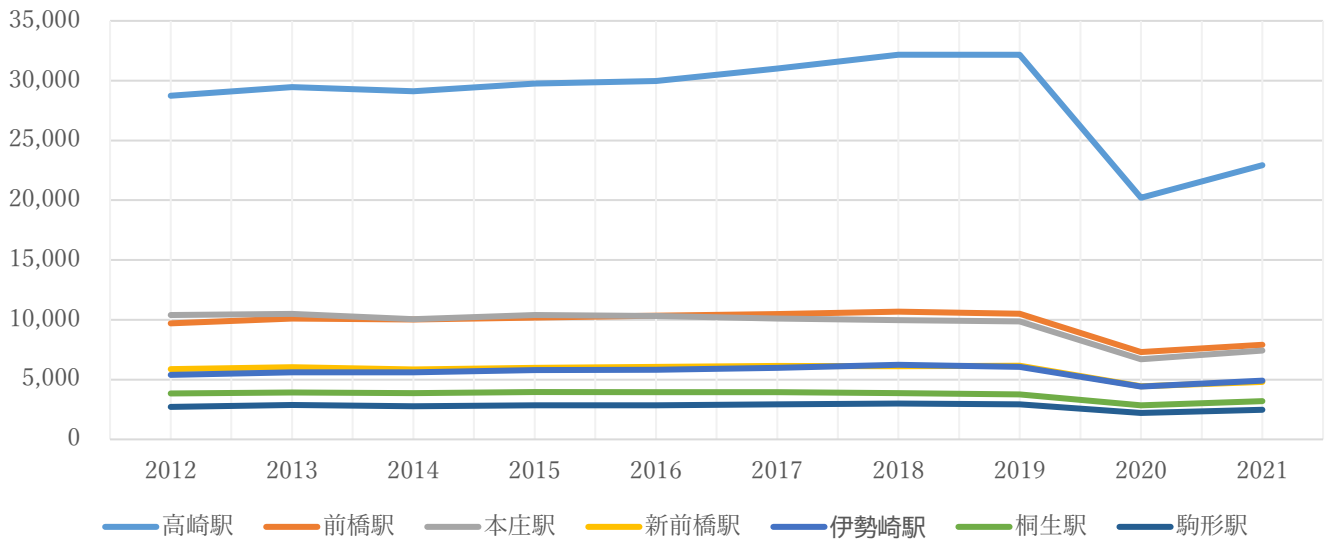
中心市街地の高齢化率



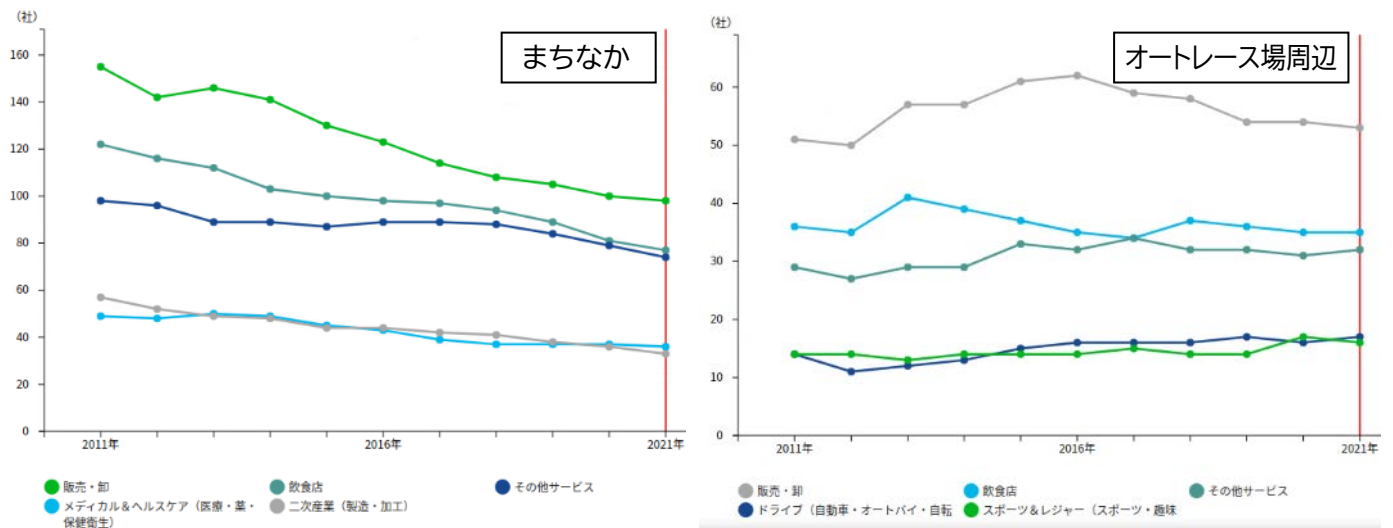
県内主要地の地価公示価格の推移(1㎡あたり)



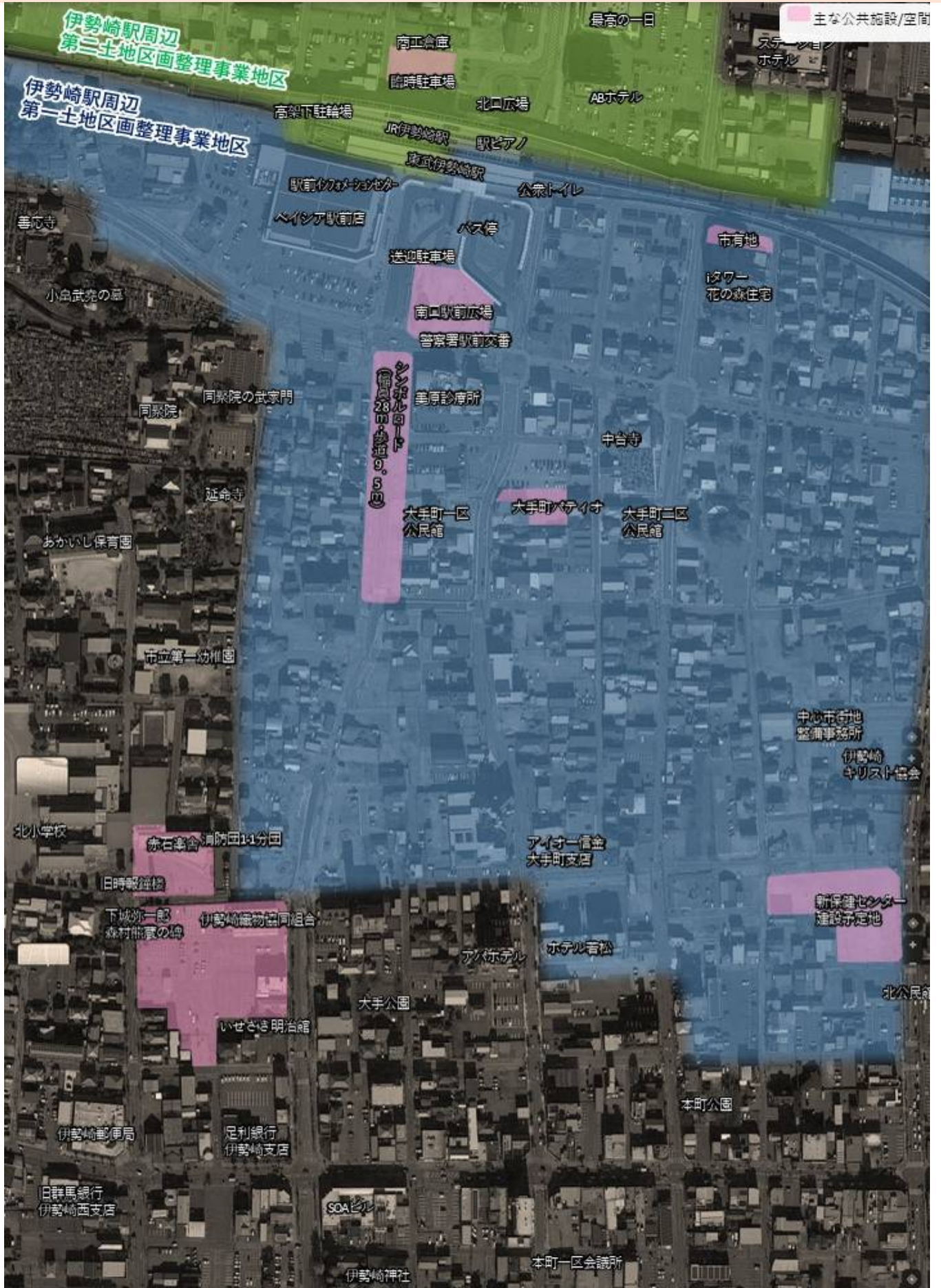
両毛線駅別乗車人員(1日あたり)



産業別事業所立地動向(RESAS 地域経済分析システムから)



4. まちなかの現状①（主な社会資源等）



駅前インフォメーションセンター

伊勢崎駅周辺の賑わい創出の拠点として、観光資源などの情報の発信をはじめ、まちなか活性化につながるイベントにも活用できる施設。開館時間は9時～17時。



駅構内、駅南口駅前広場

駅中央には南口と北口を結ぶ自由通路が設置されている。

南口駅前広場は、憩いの場として利用されるほか、いせさき楽市をはじめ各種イベントが開催される。



大手町パティオ

スペイン語で「中庭」を意味するパティオ。買い物や散策等のついでに気軽に立ち寄れ、様々な楽しみ方ができる“交流広場”となるよう整備された公園。



シンボルロード

伊勢崎駅南口と県道2号前橋館林線をつなぐ道路。両側に歩道を備えた最大幅員28メートルの道路を整備中。



赤石楽舎/旧時報鐘楼

赤石楽舎は地域交流センターとして北小学校内に設置された施設。旧時報鐘楼は横浜の薬種商小林桂助の寄付で大正5年に建てられた、県内最古の鉄筋コンクリート構造物。



伊勢崎織物協同組合

明治13年に伊勢崎太織会社として設立された、伊勢崎市を中心とした地域の機屋及び関連業種による組合で、140年以上継続している。館内では伊勢崎銘仙の展示販売等を行う。



いせさき明治館

伊勢崎藩医を務めた今村家が明治45年に建造した県内最古の2階建て洋風医院建築物で、平成14年に市に寄贈され現在地へと曳き家移転された。現在は伊勢崎銘仙展示を行う。



伊勢崎神社

主祭神として保食神を祀るほか、大日女命ほか27柱を祀る。創建は鎌倉時代の三浦義澄によるものとして伝えられ、大正15年に社名が飯福神社から現在の伊勢崎神社へ改称した。



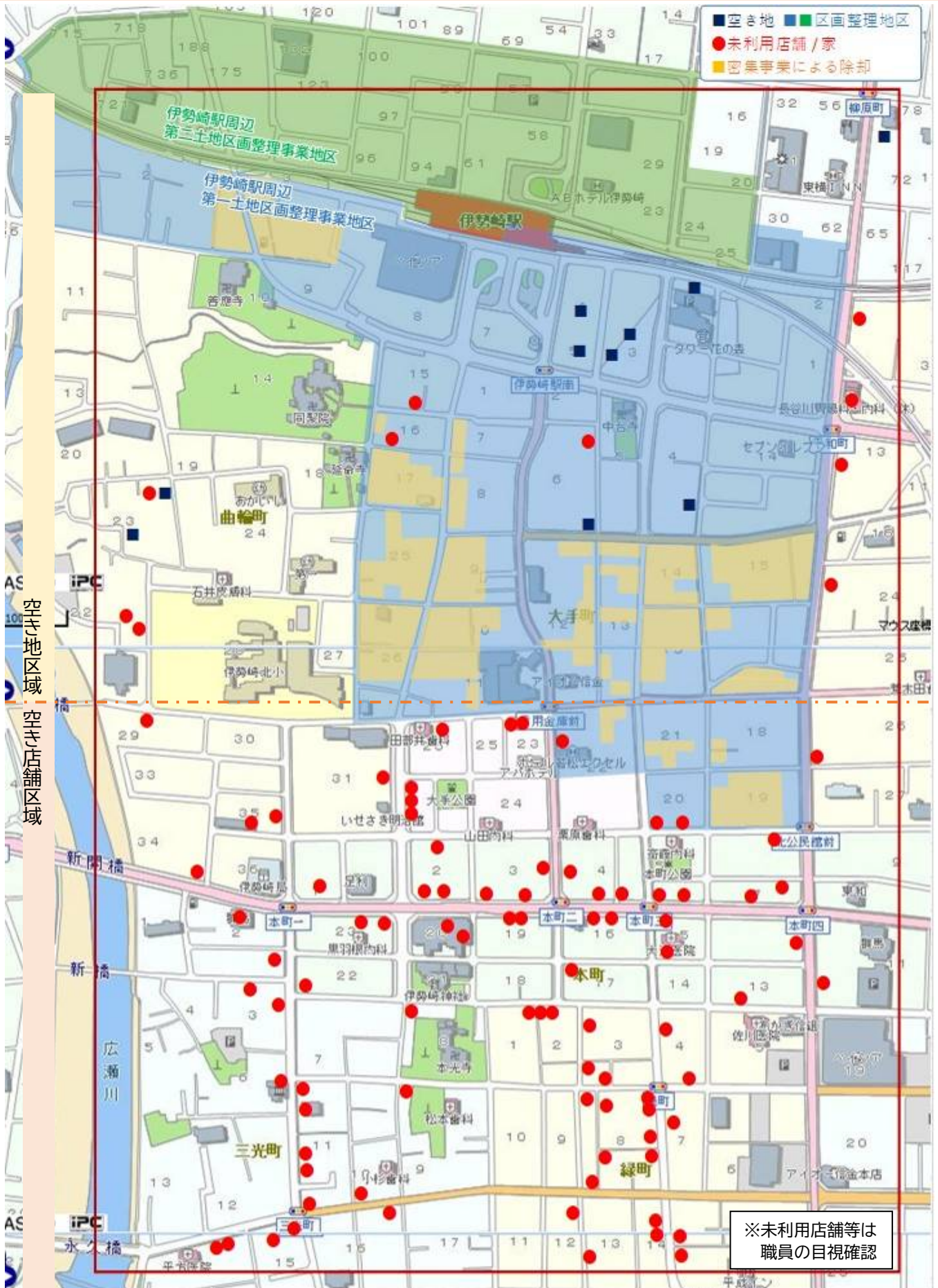
中心市街地にぎわい創出拠点(市HPから)

伊勢崎駅前広場及び(仮称)伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センターに加え、中心市街地におけるにぎわい創出の第3の核として、伊勢崎織物協同組合が本市曲輪町地内に所有する土地(表紙写真「対象地」部分)を活用した拠点整備を目指しています。そこで、中心市街地(まちなか)に人を呼び込み、にぎわいを創出するための拠点整備に向け、令和4年7月に外部有識者による本検討委員会を設置し、検討をすすめています。

(仮称)伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センター(市HPから)



健康づくりやきめ細かな子育て支援の拠点となる施設の建設基本設計を令和3年11月より進め、公募型プロポーザルにより選定された技術提案書の各コンセプトを活かしながら、基本レイアウト計画の作成などを行いました。建設に係る今後のスケジュールとしては、令和4年度に実施設計を行い、建設工事を令和5年度から令和6年度にかけて実施し、令和7年4月から新施設の供用が開始される予定です。

4. まちなかの現状② (空き地・未利用店舗[令和4年3月時点])



5. 令和5年度の主な取組報告

いせさき 楽市 全12回	4/15(土)09:00-13:00 南口広場 雨天中止 豚汁配布、ライブ、骨董市、駅ピアノ、ウクレレ体験	5/20(土) 09:00-13:00 南口広場/パティオ 約1,000人 軽トラ朝市、ライブ、ウクレレフェス、伊商高	6/17(土) 09:00-13:00 南口広場 約1,500人 軽トラ朝市、マス掴み取り、ライブ、花苗配布、駅ピアノ
	7/15(土)17:00-20:30 南口広場 約1,500人 トークライブ、駅ピアノ	7/22(土) 17:00-20:30 南口広場 約1,200人 ダンス、駅ピアノ、大道芸	7/29(土) 17:00-20:30 南口広場 約1,200人 eスポーツ
	8/5(土) 17:00-20:30 南口広場 約1,000人 ライブ、ダンス、	8/12(土) 17:00-20:30 南口広場 約1,000人 かけっこ教室、ダンス、	8/19(土) 17:00-20:30 南口広場 約1,200人 ナイトシネマ、竹灯籠、駅ピアノ
	9/16(土) 17:00-20:30 南口広場 約1,200人 クラフトビール、ライブ、駅ピアノ	10/21(土) 09:00-13:00 南口広場/パティオ 約300人 高校生フェス、謎解きウォーク、骨董市、銘仙市、軽トラ朝市、燈華会	11/18(土) 09:00-13:00 南口広場 強風中止 謎解き、ライブ、くわまる、花苗配布、軽トラ朝市、銘仙遊び、境赤レンガ、駅ピアノ
	12/16(土) 09:00-13:00 南口広場 約1,200人 謎解き、ライブ、銘仙遊び、花苗配布、駅ピアノ	3/16(土) 09:00-15:00 南口広場 約1,000人 屋外サウナ、ライブ、軽トラ朝市、銘仙遊び、銘仙トーク、駅ピアノ	
まちなか 未来学校 全4回	第1回 12月17日(日)14:00~16:30 山崎亮氏(株式会社studio-L) 赤石楽舎 参加者51名 まちなかでつながりをつくろう		第2回 1月23日(火)14:00~16:00 矢口真紀氏(choinaka 合同会社) 赤石楽舎 参加者52名 まちなかで小さくビジネスをはじめよう
	特別回 2月22日(木)19:00~21:00 若旅宏和氏(株若旅デザイン事務所) 北公民館 参加者38名 経営にブランディングを取り入れよう		第3回 3月8日(金)18:00~20:00 まちなかの未来をみんなで語ろう 伊勢崎神社 参加者37名 モデレーター 堤洋樹氏(前橋工科大学) パネラー ・菅家世誉氏(伊勢崎商工会議所青年部会長) ・笠原実氏(世界遺産伝道師協会副会長) ・関口咲季子氏(まちなかイノベーター) ・日本建築学会関東支部第24回提案競技優秀賞受賞グループ
シンポジウム等	いせさきまちなかシンポジウム 7月15日(土)14:00~20:00 赤石楽舎 105名/駅前広場 約300名 基調講演 大島芳彦氏 シンポジウム 堤洋樹氏、大島芳彦氏、菅家世誉氏、臂泰雄市長 トークライブ 片山翔平氏ほか		
			

<p>シンポジウム等 (続き)</p>	<p>まちなか活性化トークライブ！ 11月14日(火)18:30~20:30 緋の郷 76名 ゲスト 市原正人氏(ナゴノダナバンク) 木藤亮太氏(㈱ホーホウ) コメンテーター 北原啓司氏(弘前大学特任教授) モデレーター 臂 徹氏(総務省地域力創造アドバイザー)</p>		
<p>中心商店街にぎわい再生事業費補助金 全12団体</p>	<p>伊勢崎地区</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.いせさき音楽の一日プロジェクト 日頃は無機質な駅周辺を音楽(主に生演奏)の持つ「つながる力」と「和み・安らぐ力」により集う人が笑顔になる場所へ変える事を目的に、ライブ演奏等のイベントを行う。 2.銘仙のまち伊勢崎プロジェクト いせさき楽市等の事業と連携し、「いせさき銘仙」の展示や小物販売等の事業を通じて、銘仙の魅力伝え、新たな価値を創造することによるまちおこしにつなげる。 3.認定栄養ケア・ステーションいせさき (公社)日本栄養士会主催によるイベント「栄養ワンダー」をいせさきにおいても開催し、食育イベントを通しまちなかのにぎわいを創出していく。 4.伊勢崎まちなか文化祭実行委員会 まちなかの商店が店舗にまつわる歴史的・文化的な逸品等を展示する他、地元団体の活動発表の場を設け、町ナカに人が訪れるきっかけを創出し、歴史的価値等のPRを行う。 5.路地裏ちょうちん会 緑町エリアの路地裏のイメージアップを図るため、気軽に足を運んでもらうきっかけ作りとして路地裏ビアガーデンを実施する。 6. ISESACKI ハワイアンサマーフェスティバル実行委員会 異文化に触れあう機会を通じ、異文化への理解を促進し、多文化共生のまちづくりに寄与する。市域外からも魅力を感じる「暑い街・伊勢崎」としてのブランド力を高める。 7.早春！昔なつかし伊勢崎神社縁日！！ 地域コミュニティの結束を強化する。神社を訪れる機会を提供し文化や伝統を紹介する。子供に楽しみつつ学ぶ機会を提供する。交流拠点として神社の価値を発信する。 8. OCHAVA マルシェ実行委員会 茂木園本店裏を利用しマルシェを開催。テーマは「まちの食卓」。地元伊勢崎産の新鮮野菜やパン、手作り品等の販売、ワークショップ等を開催。17日は音楽演奏を行う。 <p>境地区</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. さかい・赤レンガまつり実行委員会 境赤レンガ倉庫を中心にイベントを開催し中心商店街への集客を図り、市民とのコミュニケーションと中心市街地の活性化を図ると共に、境地区全体の文化振興に寄与する。 10. 西の市実行委員会 空洞化が進行する境中心市街地で地域商店街を中心に西の市を開催、地域の顧客を呼び戻し、商業の活性化を図るとともに地域社会の活性化及びイメージアップに貢献する。 11. 毒-イツモチガウワタシ- 群馬県内のクリエイターの知名度を更に上げ、活躍の場を広め、県内外の方々に周知することで、「イベントに行くなら伊勢崎」「心躍る町、伊勢崎」にしていきたい。 12. Refinada 美容や美に関わる出展者が、体験やセッションを通じ外面も内面からも美しくなる様々な年代の女性に向けた美容イベントを開催。楽しく！わくわくする！イベントを実施。 		

6. 各取り組みにおけるアンケートの結果

	シンポジウム	トークライブ	未来学校1	未来学校2	未来学校特	未来学校3	合計
知ったきっかけ							
・市ホームページ	2	5	1	2	0	0	10
・回覧板チラシ	5	6	6	2	5	3	27
・SNS(FB,Insta)	7	4	2	2	2	2	19
・知人の紹介	13	9	2	1	2	5	32
・その他	3	3	3	2	1	0	12
参加した動機							
・将来に関心	15	21	0	4	6	10	56
・何か行動したい	7	10	3	3	7	4	34
・創業したい	2	0	1	2	3	1	9
・空き店舗活用	5	2	1	4	3	2	17
・その他	0	5	1	0	0	0	6
自身の今後の影響							
・大変そう思う	9	13	4	6	6	2	40
・そう思う	18	12	9	3	4	7	53
・あまり思わない	3	2	1	0	0	1	7
・全く思わない	0	0	0	0	0	0	0
まちなかでの活動							
・既に活動	8	4	2	4	2	5	25
・活動したい	14	16	8	3	5	1	47
・どちらでもない	8	7	4	2	3	4	28
・活動したくない	0	0	0	0	0	0	0
支援会議の評価							
・大変有効	4	2	0	0	1	1	8
・ある程度有効	4	2	2	1	4	1	14
・続けること	15	17	11	6	2	7	58
・あまり効果が無い	2	0	0	0	0	0	2
・全く効果が無い	1	0	0	0	0	0	1
・取組を知らない	4	6	1	2	3	1	17

自由記載から抜粋

- ・イベント等の週末の賑わいが『日常』になったら素敵だと思います。
- ・取り組み内容を更に見える化し、参加される方の連携及び参加のステージを設けて頂ければと思います。
- ・これからを生きる一人一人が当事者意識を持つための施策を皆で考える機会を多く作る。
- ・とにかく、継続して取り組んで下さい。より多くの市民が繋がるような取り組みを期待します。
- ・継続性のある地域は温故知新から始まる。イベントだけでは飽きられる、次のステップを期待します。
- ・伊勢崎駅周辺の新しいまちづくりと周辺地域にある歴史が残る地域の宝物にも目を向けていただきたい。
- ・伊勢崎市には銘仙があるので文化の発信を中心に賑わいを作り出した方のお話を聞いてみたいです。
- ・再開発の進捗状況がいかなものか。時々、内容変化を情報として出して共有したい。
- ・安く貸してくれる店舗や空き家の情報を発信するといいいのかもしれませんが。
- ・まちなか活性化のFacebook作って見たらどうですか？気軽に集まれるコミュニティづくり。
- ・若者対象に話をしたり、小さな子供たちも意見が出せるようなイベントがあるといいと思います。
- ・ぜひ高校生の意見を取り入れるような場面を設けていただきたいと思います。
- ・子供が小さいため、今日のような平日の日中講座だと参加しやすいです。
- ・まちなかで活動したい方の為に、空き店舗情報や講演会のない日でも、交流する場、個人事業者同士マッチングしてあげる場が、あったらと思います。
- ・楽市に出店者として参加したいが、未経験主婦で何を用意したらいいかわからず。キッカケください。
- ・伴走する大人が必要かと感じます。話ができる大人がいる場所があったら良いのだと思いました。

7. 令和5年度における課題と取組

設定した課題	解決のための取組	取組の詳細
(1)まちなかの求心力が失われている	<ul style="list-style-type: none"> ①いせさきまちなか宣言 ②まちなかトークライブ ③まちなかシンポジウム 	<ul style="list-style-type: none"> ①オリジナルイラストを用いたバッジの配布に加え、セミナー・シンポジウム事業の開催毎にまちなか宣言の内容をパンフレットに掲載し、宣言の周知を図りました ②トークライブは昨年度登壇の木藤氏に加え、名古屋市から市原氏、弘前大学特任教授の北原氏が参加され、まちなかの経済活力を高めるヒントについて活発な議論が行われました ③シンポジウムは日本建築学会関東支部の提案競技と連携して開催、リノベーションまちづくりで全国的に活躍されている(株)ブルースタジオの大島芳彦氏等をお迎えしました。また、夜の部を南口駅前広場で開催し、多くの方がまちづくりを考えるキッカケとなりました
(2)賑わい創出事業がマンネリ化している	<ul style="list-style-type: none"> ④いせさき楽市 ⑤まちなかにぎわい創出事業 	<ul style="list-style-type: none"> ④第三土曜日の開催が定着し、毎回安定した来場がありました。雨天等により4、11月の開催を中止しました。7～9月の夜市はお酒や料理を楽しむ地域住民の喜ぶ声も聞こえました ④楽市に併せて駅構内の駅ピアノを活用し、市民グループによるコンサートが開かれました ⑤にぎわい創出事業としてeスポーツやマスの掴み取り、ナイトシネマ等の新たな取組が行われ、家族連れの来場が増加しました
(3)新たな賑わいの担い手を必要としている	<ul style="list-style-type: none"> ⑥まちなか宝さがしワークショップ→まちなか未来学校 ⑦中心商店街にぎわい再生事業費補助金 ⑧まちなかイノベーター 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥実践的なワークショップとして募集しましたが参加者が少なく、より参加しやすいまちなか未来学校へ内容を改めました ⑥未来学校は12月以降全4回を開催し、延べ200人近くの参加者からも今後の継続を求める声が多数寄せられました ⑦にぎわい補助金は12件（前年比10件増）の活用があり、多くの団体が補助を活用して自主事業に取り組みました ⑧イノベーター2名が活動を開始、既存事業の充実に加え、謎解きウォークや秋田物産展など新規事業も多数産まれています
(4)まちなか創業に高いハードルがある	<ul style="list-style-type: none"> ⑨特定創業支援事業 ⑩創業促進サポート補助金 ⑪創業支援事業（情報発信セミナー）→まちなか未来学校 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨特定創業支援事業者としてアイオー信金とあかぎ信組が参加、セミナーが独自開催されました ⑩創業補助金を活用したまちなかでの新規創業は徐々にですが、増加の傾向にあります ⑪情報セミナーは未来学校の枠内でデザイナー若旅宏和氏を招いてブランディング講座を開催、参加者からも好評を博しました

<p>(5)空き店舗・空き地の活用が進んでいない</p>	<p>⑥まちなか宝さがしワークショップ→まちなか未来学校 ⑫まちなか空き店舗調査 ⑬SDGs 官民連携プラットフォーム ⑭日本建築学会関東支部提案競技</p>	<p>⑥空き店舗活用を視野に入れたワークショップは参加者が少ないため中止し、まずはまちなかで活動する者を掘り起こすことを目的に、未来学校として全4回を開催し多くの参加者がありました ⑫空き店舗調査は前年度に大規模かつ詳細な調査を実施したため、本年度の実施は見合わせました ⑬官民連携プラットフォームを通じて、事業者から空き店舗活用についての提案があり、新年度における事業化を検討しています ⑭提案競技は入選作9作品が公開審査において選出され、市役所庁舎・駅前インフォメーションセンターでの作品展示や、作品をテーマにしたシンポジウムの開催を通じて議論を深めました</p>
<p>(6)まちなかの公共空間は更なる活用の余地がある</p>	<p>④いせさき楽市 ⑭日本建築学会関東支部提案競技 ⑮公共用地活用及び組織検討部会</p>	<p>④駅前広場ではナイトシネマや野外サウナなど多様な活用がありました。駅前広場や大手町パティオの活用に加えて、駅自由通路をeスポーツ大会や駅ピアノコンサートで活用し、駅周辺公共空間の活用事例の多様化が図られています ⑭提案競技の提案のうち公共空間活用に係るものを、公共用地検討部会において検討しました ⑮まちなかの公共空間の更なる活用を促すため、支援会議内に専門部会を設置して検討を行い、3月末に臂市長へ提言書を提出しました</p>
<p>(7)小規模事業者の多くが活力を失っている</p>	<p>⑯小規模事業者サポート補助金 ⑰商工会議所/商店会連合会主催事業 ⑰中心商店街にぎわい再生事業費補助金</p>	<p>⑯小規模補助金を活用し、まちなかの既存の事業者が経営改善に取り組みました ⑰ISECA と連動したデジタルスタンプラリーへ地元商業者が参加、楽市や軽トラ朝市の開催と併せてまちなかでの回遊性の高まりがありました ⑰にぎわい補助金採択12件のうち、路地裏ビアガーデンや OCHAVA マルシェ等、既存事業者が中心となった意欲的な取組が見られました</p>
<p>重点取組 (1)地域住民及び商工業者など多様な関係者との連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携の強化を図るため、支援会議に北地区区長会、南地区区長会から各1名の委員を迎えました ・県内の設計、建築に携わる者で組織する日本建築学会関東支部との連携により、第24回提案競技の開催を支援しました 	
<p>重点取組 (2)公共用地を始めとした駅周辺事業用地の実験的活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本市で初となるeスポーツ体験会を、7月に伊勢崎駅構内自由通路で開催しました ・にぎわい補助事業を活用し、駅前広場等において多くの事業が行われました ・公共空間活用検討の専門部会を設置し、市民調査を経て、経済的利用を含めた活用の推進と運営体制の確保を中心とした提言(別冊)を、3月末に市長へ提出しました 	
<p>重点取組 (3)事業推進主体等の調査研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共空間活用検討の専門部会を設置し、市民調査を経て、経済的利用を含めた活用の推進と運営体制の確保を中心とした提言を、3月末に市長へ提出(別冊)しました ・いせさき楽市に併せて実施した「まちなかにぎわい創出事業」について、民間事業者の創意工夫と調整力を最大限発揮していただくよう、事業を進めました。 	

8. いせさきまちなか宣言

まちなかの活用における約束事であり、まちなかに関わる全ての人に共有してもらいたい将来像として、令和4年度に市民アンケート等に基づき「まちなか宣言」を策定しました。イラストは市内在住イラストレーターうくい氏によります。発表後は巡回展示を行い、令和5年度はバッジやパンフレットでの周知を行いました。



まちなかを全力で楽しむイベントを、みんなで楽しみながらつくります。



まちなかの空き家や空き地を、工夫とアイデアで生まれ変わらせます。



いつでも誰でも、安心して安全に歩けるまちなかを、みんなでつくります。



まちなかの緑をみんなで育てて、交流の場として大切に活用します。



歩きや自転車の移動が楽しい、人が中心のまちなかを一緒につくります。



歴史的な建物やお祭りなどに積極的に触れて、まちの伝統や文化を守ります。



アートや音楽を伝えたい人と楽しむ人が融合する、素敵な空間にします。



新たな挑戦に取り組む若者たちを応援し、参加しやすいまちなかにします。

9. 令和6年度における課題の整理

令和5年度の事業を元に、次年度に向けた様々な意見を踏まえつつ、令和6年度における課題を整理します。また、各課題に対応するまちなか活性化支援会議の取組（関連の取組を含む）と併せて、次のとおり掲げます。

令和5年度に掲げた課題	令和6年度に掲げる課題と対応する取組
(1)まちなかの求心力が失われている	<p>(1)まちなかの未来像が明らかでない</p> <p>まちなかでは既に鉄道高架や区画整理が行われ、にぎわい創出拠点整備が進んでいます。一方、官民連携での活性化事業も本格化しています。このような状況で、まちなかにどんな未来を描くのか、関係者が広く共有することが必要です。</p> <p>取組① いせさきまちなか宣言 （関連） 中心市街地活性化基本計画【市】</p>
(2)賑わい創出事業がマンネリ化している	<p>(2)賑わいの担い手を更に生み出すことが必要</p> <p>いせさき楽市の定例開催や中心商店街にぎわい再生事業費補助金等により、新たな活動の担い手は確実に生まれています。このにぎわいを日常化するために、まちなかでの新たな挑戦を支援し、賑わいの担い手として育てる施策が必要です。</p> <p>取組② まちなか未来学校 拡充</p>
(3)新たな賑わいの担い手を必要としている	<p>取組③ いせさき楽市</p> <p>取組④ まちなかにぎわい創出事業</p> <p>取組⑤ 中心商店街にぎわい再生事業費補助金【市】</p> <p>取組⑥ まちなかイノベーター（地域おこし協力隊）</p>
(4)まちなか創業に高いハードルがある	<p>(3)まちなかでの創業に高いハードルがある</p> <p>まちなかは市内でも地価が高く、また、市場に流通する空き物件も数が少ないことから創業に適さないとの声を聞きます。まちなかでの創業を促進するためには、創業に対する金銭的な支援に加えて、創業に適した物件確保の支援が必要です。</p> <p>取組⑦ 創業促進サポート補助金（まちなか加算）【市】</p>
(5)空き店舗・空き地の活用が進んでいない	<p>取組⑧ 特定創業支援事業【市】</p> <p>取組⑨ まちなか空き店舗調査</p> <p>取組⑩ 外部人材の活用（空き店舗対策検討部会の設置） 新規 （再掲） まちなか未来学校</p>
(6)まちなかの公共空間は更なる活用の余地がある	<p>(4)まちなかの公共空間が十分に活用されていない</p> <p>まちなかに持続可能なにぎわいを創出する「まちの機能再編」のため、また、民有地・民間の低未利用施設に対する投資の呼び水的な役割として、公民連携による公共空間の利活用を推進することは、大変重要な役割を果たすと言えます。</p> <p>（再掲） いせさき楽市 ※駅周辺公共空間の更なる活用 （関連） 駅前インフォメーションセンター管理運営事業【市】</p>
(7)小規模事業者の多くが活力を失っている	<p>(5)地域住民や地元商店街との連携が十分ではない</p> <p>地域でこれまで活動してきた様々な関係者との連携や支援施策が必要です。</p> <p>取組⑪ 小規模事業者サポート補助金【市】 （再掲） 中心商店街にぎわい再生事業費補助金[再掲] （関連） 商工会議所/商店会連合会事業【連携協力】</p>

10. 令和6年度重点取組事項

(1) まちなかの公共空間の可能性を広げる（R5年度 専門部会設置）

令和5年度に専門部会において行った市民調査の中で、特に活用希望の声が多かった公共空間を中心に、主にいせさき楽市などの支援会議が主催する各種イベントの機会を活用して、積極的な利活用の事例を社会実験として重ねていきます。

また、これにより、民間団体の活用ニーズの把握や、利用手続の必要性等についての検討を進めていきます。

(2) 創業につながる空き店舗の活用を検討する（R6年度 専門部会予定）

まちなかでの創業や起業を推進するために、令和4年度から創業支援サポート補助金のまちなか加算制度を創設していますが、この他にも、創業希望者の声に応える「事業を行う場＝価格が適正な物件」が不足していると考えられます。この課題を解決するため、外部人材の知見を活用し、主に本町通り以南に多く点在している空き店舗の活用や確保について、本市の状況での効果的な事例の調査研究を進めます。

(3) まちなか活性化に取り組む人材を発掘し育成する

本年度から活動を開始した地域おこし協力隊の2名は、その活躍でまちなかに新たな風を吹かせています。市では、令和7年度から活動を開始する協力隊員を令和6年度中に募集するため、隊員の任期後の地域でのあり方を視野に入れながら、活動目的や活動内容、募集方法等について、関係者の意見をふまえ検討します。また、令和5年度から開校した「まちなか未来学校」の取組を拡充し、いせさき楽市の開催に併せて原則として毎月開催することで、学びながらまちなかで地域活性化に取り組む人材の発掘・育成をさらに進めます。

11. 年間イベントスケジュール案

月	会議関係	いせさき楽市	未来学校等	関連イベント
4月	4/1 委員選出依頼	4/20 楽市 ※原則未来学校と同一日程	4/20 未来学校 ※原則楽市と同一日程	1日 各種補助金募集開始
5月	中旬 会議①	5/18 楽市	5/18 未来学校	
6月	中旬 会議②	6/15 楽市	6/15 未来学校	
7月		7/20 夜市	7/20 シンポジウム	
8月	中旬 会議③	8/17 夜市	未定 未来学校(3回)	
9月		9/21 夜市	9/21 未来学校	
10月	中旬 会議④	10/19 楽市		上旬 協力隊募集開始 10/19 高校生フェスタ
11月		11/16 楽市	11/16 未来学校	
12月	中旬 会議⑤	12/21 楽市	12/21 未来学校	
1月				
2月	中旬 会議⑥		未定 未来学校	
3月	下旬 会議⑦	3/15 楽市	3/15 未来学校	下旬 協力隊就任式

(日程は変更する場合があります)

12. 伊勢崎市まちなか活性化支援会議 要項

(令和6年3月 現在)

- (設置) 伊勢崎市
- (名称) 伊勢崎市まちなか活性化支援会議
- (目的) 経済活力の向上を通じたまちなかの活性化
- (定義) まちなか…伊勢崎市中心市街地活性化基本計画で定める中心市街地活性化基本計画区域
- (活動) 本会は次の各号に掲げる活動に取り組む
- (1) まちなかにおける創業促進施策に関する事
 - (2) まちなかにおける経済状況等の把握に関する事
 - (3) その他、まちなかの経済活力の向上に有効な施策に関する事
- (委員) 本会は次の各号に掲げる者から推薦された者をもって構成する
- (1) 伊勢崎市
 - (2) 伊勢崎市北地区区長会 (まちなかの住民を代表する団体)
 - (3) 伊勢崎市南地区区長会 (同上)
 - (4) 伊勢崎商工会議所 (創業支援及び商工振興に関わる経済団体)
 - (5) 群馬伊勢崎商工会 (同上)
 - (6) アイオー信用金庫 (市内に本拠を置く金融機関)
 - (7) 群馬県宅地建物取引業協会伊勢崎支部 (空地・空店舗の活用に関わる団体)
 - (8) まきばプロジェクト (市街地活性化に取り組む市民団体)
 - (9) その他、構成員が特に必要であると認める者
- (会議) 本会は委員の過半数が必要と認めた場合に、会議を開催する
- 2 委員は、事故その他のやむを得ない理由により会議に出席できないときは、代理人を出席させることができる
 - 3 委員の過半数が必要と認めた場合に、オブザーバーとして、会議に委員以外の者の出席を求めることができる
 - 4 委員の過半数が必要と認めた場合に、委員及びオブザーバーに専門性を確保したメンバーや見識あるアドバイザーを加え、専門部会を当該年度の3月31日までを有効期間として設置することができる。ただし、会議において委員の過半数が必要と認めた場合に、その有効期間は1年延長されるものとする
- (事務局) 本会の事務を処理するため、事務局を置く
事務局の運営に必要な事項は、伊勢崎市産業経済部商工労働課が処理する
- (補足) この要項に定めるもののほか、本会の運営等に関して必要な事項は、別に定める

13. まちなか活性化支援会議 名簿

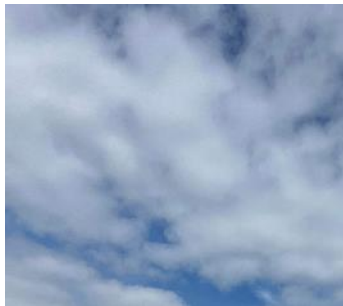
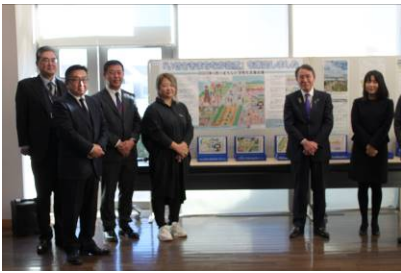
(令和6年3月現在、敬称略)

委 員	行政区	北地区区長会	大手町三区	区長	和佐田憲央
	行政区	南地区区長会	中央町一区	区長	池田 育兄
	商工関係	伊勢崎商工会議所	中小企業相談所	所長	年代 智宏
	商工関係	群馬伊勢崎商工会		事務局長	栗田 浩
	金融関係	アイオー信用金庫	営業推進部	部長	鈴木 裕加命
	不動産関係	群馬県宅地建物取引業協会伊勢崎支部		総務委員長	岡部 修久
	市民団体	まきばプロジェクト		代表	秋山 麻紀
	伊勢崎市	産業経済部	商工労働課	課長	定形 泰明
オブザーバー	不動産関係	全日本不動産業協会	群馬県本部	東毛地区担当	大和久雅史
	群馬県	地域創生部	地域創生課	地域支援員	富澤 裕介
	伊勢崎市	中心市街地整備事務所	都市開発課	係長	高橋 広樹
	伊勢崎市	中心市街地整備事務所	市街地整備課	課長補佐	関口由佳利
事務局	伊勢崎市産業経済部商工労働課	商工振興係			

14. まちなか活性化支援会議のこれまでの取組み

令和3年度	8月26日	第1回開催 (本会議の目的、中心市街地の現状ほか)
	9月22日	第2回開催 (会議要項、市の制度説明、意見交換ほか)
	11月18日	第3回開催 (協定締結について)
	12月10日	協定締結 最終検討会議 (事務局長レベル)
	12月23日	協定締結
	1月13日	第4回開催 (安中市地域おこし協力隊ほか)
令和4年度	2月21日	第5回開催 (空き店舗調査報告、空き店舗状況ほか)
	3月24日	第6回開催 (茨城県北地域おこし協力隊、年間計画ほか)
	5月13日	第1回開催 (ワークショップ、まちなか宣言、専門部会設置ほか)
	6月30日	第2回開催 (ワークショップ、地域おこし協力隊、シンポジウムほか)
	7月16日	まちなかワークショップ (8月6日、20日)
	8月 1日	まちなか市民アンケート (~11月20日)
	8月30日	第3回開催 (ワークショップ、地域おこし協力隊、市民アンケート、まちなか宣言)
	9月17日	まちなかシンポジウム
	9月29日	第4回開催 (シンポジウム、トークライブ、創業支援事業、地域おこし協力隊)
	10月 3日	まちなか活性化トークライブ
	10月27日	第5回開催 (地域おこし協力隊、まちなか宣言、空き店舗調査、R5年度活動方針)
	11月18日	Instagram 情報発信セミナー
11月29日	第6回開催 (まちなか公共施設、市民団体事例発表、まちなか宣言ほか)	
1月 4日	まちなか宣言巡回展示 (~3月10日)	
1月10日	第7回開催 (まちなかイノベーター一次選考)	
2月24日	第8回開催 (地域おこし協力隊、空き店舗調査、まちなか事業者意見交換)	
3月24日	第9回開催 (年間計画、地域おこし協力隊)	

令和5年度	5月24日	第1回開催（要項改正、にぎわい補助金、ワークショップ、イノベーター報告）
	6月29日	第2回開催（部会設立、にぎわい補助金、イノベーター報告）
	7月 4日	第1回専門部会
	7月15日	まちなかシンポジウム／日本建築学会関東支部第24回提案競技現地説明
	8月21日	第2回専門部会
	8月28日	第3回開催（にぎわい補助金、ワークショップ、トークライブ、イノベーター報告）
10月23日		第4回開催（未来学校、にぎわい補助金、R5計画進捗、ベイシア閉店）
11月14日		まちなか活性化トークライブ
11月28日		第3回専門部会
12月10日		日本建築学会関東支部第24回提案競技公開審査
12月14日		日本建築学会関東支部第24回提案競技パネル展示①（～12月28日）
12月17日		第1回まちなか未来学校（山崎亮氏）
12月22日		第5回開催（未来学校、視察研修、建築学会提案競技、イノベーター報告）
1月23日		第2回まちなか未来学校（矢口真紀氏）
2月 9日		第6回開催（前橋市視察研修）
2月22日		特別回まちなか未来学校（若旅宏和氏）
3月 8日		第3回まちなか未来学校（堤洋樹氏ほか）
3月26日		日本建築学会関東支部第24回提案競技パネル展示②（～4月14日）
		第7回開催（年間計画、専門部会提言、イノベーター報告）
3月29日		専門部会提言書提出



伊勢崎市まちなか活性化支援会議

令和6年度事業計画書（案）

（令和6年3月26日 作成）